

アニメの魅力だけではない

「加須花咲AB」コース 埼玉県

ちょっと久しぶりのパーマ
ネントコースめぐり。足慣ら
しに、起伏もなく手軽に回れ
る加須花咲コースを選んで
みました。開設間もない昭和
61年11月に踏破して以来28
年ぶりの再訪です。

「加須花咲AB」コース
埼玉県 No.150 JOA 公認 No.697
Aコース 11km 7ポスト
Bコース 10km 8ポスト

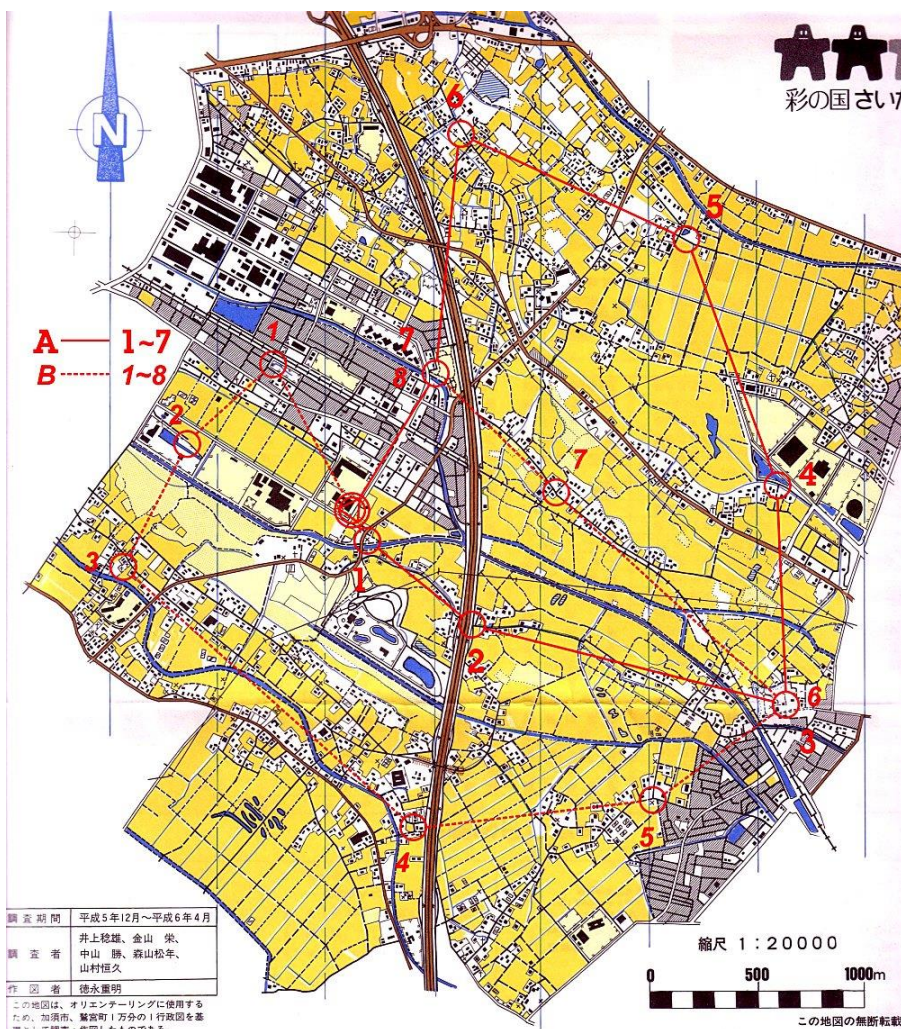
イタズラニモマケズ

当時は現在のように2コースではな
く、12kmの1コースのみの設定でした。
エリアも今よりも北西側に大きく組み
まれていて、第2～5ポストは平成5年
に改訂された現行のマップではエリア
外になっています。コース変更後20年
余りが経過していますが、私自身は初
挑戦の高揚感を抱きながら現地に向か
います。

自宅の逗子からも湘南新宿ラインを
使えばコースに近い久喜までは乗り換
えなしで済みます。東武伊勢崎線に
乗り換え2駅目が花崎駅です。コース名
や近隣の高校名は「花咲」の表記です
が、地名は「花崎」で統一されていま
す。高校の説明会があるのか、学生と
親御さんの組み合わせの降車客が花崎
駅では多く見られます。高校の通学路
にあるスタート地点の加須げんきプラ
ザ（平成15年4月に加須青年の家から
改称）までは5分程度です。

すっかり古びた案内板は以前と同じ
場所で迎えてくれました。マスターの
掲示はすでになく、げんきプラザの事
務室での扱いとなっています。マップ
は無料で分けてくれますが、コースの
維持管理のためにも200円程度の代金
は払っても良い気持ちになります。

かなり以前からポストが1箇所欠損
しているという情報があり、修復され
ていることを期待しつつマスターを貸
していただきます。しかし、残念なこ
とにBコースの第1ポストは今も未設
置とのコメントが残されていました。
再設置してもいたずらをされること
が繰り返されるらしく、検討中のま
ま6年が経過しています。記号は「D」
とのこと。コースを写し取り、10時24



分にAコースから歩き始めます。A
コースの第3ポストまでは初期のコース
の第8～10ポストを逆にたどるルート
です。最初のポストはスタートから目
と鼻の距離。ポストの南を流れる青毛
堀川の改修記念碑が立てられている敷
地内にあり、更新されてピカピカにな
ったポストの朱色が陽を浴びて輝いて
います。敷地を区切る柵の水色だった
塗装はすっかり赤錆びています。ポ
スト位置もわずかに南寄りに移され、
記号も変更になっています。

ているなどの違いがあり、時の流れを
感じます。このポストも記号は異なっ
ていることから、更新されたことがわ
かります。



ピカピカに更新されていた1番ポスト

橋を渡り、東北自動車道を目指して
東へ向かう道路を進みます。ポストは
高速道路の反対側。地下道をくぐって
北側の上っていくと、T字路の脇に第
2ポストが見えてきます。前回の写真
と比較すると、高速道路の堀が高くな
っていること、側道に歩道が増設され

アニメ「らき☆すた」の聖地

第3ポストはコース最大の見所である鷲宮神社の境内に設置されています。ここと最終の第7ポストはBコースとも共通で、さらに神社のポストはお隣の鷲宮コースにも組み込まれています。第2ポストから北側は見渡す限りの関東平野が広がるのどかなエリアです。地図上では南側も耕作地が広がっていますが、地図調査から2年後に平成国際大学が開校され、状況が一変しています。敷地内に植えられたイチヨウが鮮やかな黄色に色づいていました。東武鉄道の踏切を渡り、神社の境内に続く宮前橋を通過すると目の前が鷲宮神社です。七五三のシーズンのため境内は参拝する家族連れで賑わいを見せています。拝殿に向かう前に片隅に設置されているポストと再会します。このポストは更新されずに使用され続けており、老朽化が目立って首を傾げていました。参拝を済ませ、混雑する授与所に立ち寄り御朱印をいただきます。三つ巴紋が箔押しされたオリジナルの御朱印帳を買い求め、最初のページに記帳をお願いします。勾玉に象られた大西本社の印も捺していただいたうえ、達筆の墨文字に大満足。



鷲宮神社といえば、アニメファンには聖地として有名です。2007年に放映された「らき☆すた」に鷲宮神社をモデルとする鷹宮神社が登場することから火がついたようで、放映前の2005年には65,000人だった初詣参拝者が2007年には倍の130,000人になり、さらに2011年以降は何と470,000人で推移しているという驚異的な集客効果を誇っています。境内に掛けられた絵馬を見ると、アニメのキャラクターを描き込んだものが多く見られます。



賑やかな神社を後にし、交通量の多い道路を北に向かいます。色づく街路樹を眺めながら進み、三角形の貯水池の脇でフェンスに寄り添うようにして立つ第4ポストを発見します。

コンパス大活躍！

出版流通業界2位のトーハンのロジスティックスセンターを横目に北に向かい、再び平野を実感するエリアへと歩を進めます。第5ポストは初期コースの第6ポストと同じところ。ポストこそ更新されているものの、前回から時が止まったように、小さな池の近くで雑木林を背にして立っています。

次のポストに向かうルートは大型倉庫の建設で大きく変化しています。瘤大神という小さな旧跡を過ぎると正面に三井倉庫という巨大な建物が姿を現します。ここからは地図が全く役に立たず、コンパスワークで方向を定めながら進みます。北北西集会所までたどり着くことができれば、そこにポストが無造作に置かれています。

最後のポストは花崎北公園内。途中にある民家のブロック塀には加須が生産日本一を誇るこいのぼりをアピールする手書きの絵が描かれ、目をひきます。高速道路をくぐって公園に入ると、トイレの前の生垣から顔を覗かせるポストが目飛び込んできます。駅構内を抜けて所要2時間24分でAコースは終了です。

今度はBコースへ

軽く昼食をとり、Bコースのスタートは13時ジャスト。初期コースとの重複が少なく、第3～5ポストは以前のマップの外に設置されています。まず、花崎城山公園の第1ポストですが、やはり見当たりません。以前のコースでも第1ポストでしたので、28年前の写真を見ると線路を背にした柵近くに設置されていたことが分かります。この写真には東武鉄道がクリーム色だった頃の車両が写っています。昭和60年から現在の白地にブルーのラインの入った塗装に順次変更されていきましたので、旧塗装の最後のタイミングだった

ようです。

第2ポストは環境浄化センターの敷地内にあり、金網の向こう側です。小さなお堂を見守るように立っています。

五衛門橋で青毛堀川を渡り、2つ目の十字路を左折し道路を進みます。ほどなく拝殿の赤い屋根が印象的な女体神社があり、その赤さに負けない鮮明な第3ポストも見えてきます。

第4ポストは長い長い直線の道が続きます。約1.2km先の分岐までただただ歩きます。分岐を右手に入り、住宅地の中を進むと慶雲院という曹洞宗のお寺の駐車場にポストがあります。

平野の道を進み、ごみ収集所の横でお地藏さんと並び立つ第5ポストを經由して、再び鷲宮神社に至ります。午後2時半を回り、七五三の参拝客もずいぶん少なくなっています。Bコースでは第6ポストになる境内のポストをチェックして、次のポストへは境内裏の森を抜けていきます。

水路沿いの道に入ると、そこは散策にはうってつけの未舗装路が待っています。この日の最終盤に差し掛かり、20km近く歩いた足を癒してくれます。程なくまた舗装区間になり、線路沿いを進むとガレージの横にあからさまに立つ第7ポストが確認できます。

同じ道を進むと最終ポストの花崎北公園へ自ずと導いてくれます。2時間半でBコースも終了です。

一度回ったコースでも時を隔てて再訪することで、当時は気づかなかった発見があり、時とともに変化する景色や変わらぬ景色との出会いがあります。僕らを受け入れてくれる土地への理解が深ければ深いほど、さらに楽しみが増すことを実感した1日となりました。

アニメにも負けない、パーマネントコースの価値を地域の方々に示していくことも、もしかするとできるかもしれません。

(2014年11月23日 踏破)
(大高竜亮)



こいのぼり生産日本一